

Pioneer Dj

DJコントローラー

DDJ-400

**[pioneerdj.com/support/
rekordbox.com](http://pioneerdj.com/support/rekordbox.com)**

上記のサイトで、本製品のFAQなどのサポート情報をご覧ください。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この冊子と本機に付属している「取扱説明書 (クイックスタータガイド)」を必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体および PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。(例: [ファイル]、[LOAD] ボタン、[PHONES] 出力端子)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、開発途中のものであり、最終仕様と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合がありますがご了承ください。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合がありますがご了承ください。

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい rekordbox ソフトウェアの操作については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

- rekordbox の操作説明書は、下記サイトからダウンロードできます。
rekordbox.com

07 その他

故障かな?と思ったら	20
他の DJ アプリケーションのコントローラーとして使用する	22
保証とアフターサービス	22
商標および登録商標について	23
ソフトウェアのライセンス	23
著作権についてのご注意	24

01 はじめに

付属品を確認する	3
「rekordbox イン트로ダクション」を閲覧する	3
rekordbox について	3
rekordbox をインストールする	3

02 各部の名称とはたらき

本体天面部	5
本体背面部	9
本体前面部	9

03 接続する

入出力端子に接続する	10
PC/Mac と接続する	10

04 操作する (基本編)

システムを起動する	11
オーディオ設定を確認する	11
楽曲ファイルを [コレクション] に追加する	11
トラックをデッキにロードする	11
トラックを再生する	12
ヘッドホンで音声をモニターする	12
システムを終了する	12

05 操作する (応用編)

4 ビートループを使う	13
マニュアルループを使う	13
パフォーマンスパッドを使う	13
キューポイントを設定する・呼び出す	16
フェーダースタート機能を使う	16
トラックを解析する	17
BEAT FX を使う	17
録音機能を使う	17
マイクを使う	17

06 設定を変更する

ユーティリティモードを起動する	18
ユーティリティモード	18
rekordbox で設定を変更する	19

はじめに

付属品を確認する

- USB ケーブル
 - 保証書（一部の地域）^①
 - 取扱説明書（クイックスタートガイド）
 - rekordbox dj ライセンスキーカード
- ① 欧州向け製品のみ。（日本向けは「取扱説明書（クイックスタートガイド）」の裏表紙に、北米地域は「取扱説明書（クイックスタートガイド）」の英語、フランス語それぞれの最終ページに該当内容が記載されています。）



ご注意
ライセンスキーの再発行はできませんので、大切に保管してください。

「rekordbox イン트로ダクション」を閲覧する

rekordbox のセットアップまでが書かれています。

- 1 PC/Mac でウェブブラウザを起動し、下記サイトにアクセスする

rekordbox.com

- 2 [Support] の [マニュアル] をクリックする

- 3 「rekordbox イン트로ダクション」の必要な言語をクリックする

rekordbox について

- rekordbox は楽曲管理と DJ パフォーマンスができる複合ソフトウェアです。
- rekordbox の DJ パフォーマンス機能を rekordbox dj と呼びます。製品に同梱の rekordbox dj ライセンスキーカードに記載されているライセンスキーを入力することで、rekordbox dj を使うことができます。

最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac : macOS High Sierra 10.13 / Sierra 10.12 / OS X 10.11 (最新アップデート)	Intel® processor Core™ i7、i5、i3 4 GB 以上の RAM
Windows: Windows® 10 / Windows® 8.1 / Windows® 7 (最新サービスパック) 32 ビット版 / 64 ビット版	Intel® processor Core™ i7、i5、i3 4 GB 以上の RAM
その他	
USB ポート	PC/Mac と本機を接続するために USB 2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1280 × 768 以上の解像度
インターネット接続	rekordbox のユーザーアカウントの登録とソフトウェアのダウンロードのため、インターネット接続環境が必要です。

- 記載の動作環境を満たしている、すべての PC/Mac における動作を保証するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノートパソコンをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- OS は最新のバージョン、サービスパックをお使いください。
- rekordbox の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記 rekordbox 商品サイトの [Support] から [動作環境] を参照してください。
rekordbox.com

rekordbox をインストールする

rekordbox を準備する

rekordbox をはじめてお使いになるお客様、および rekordbox Ver. 4.x 以前をお使いのお客様は、本手順に従ってインストールしてください。

rekordbox Ver. 5.x を既にインストールされているお客様は、rekordbox 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。

- インターネットの接続に必要な PC/Mac、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

インストール手順について

お客様がお使いになる PC/Mac のオペレーションシステム (OS) により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順 (Mac)

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした rekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

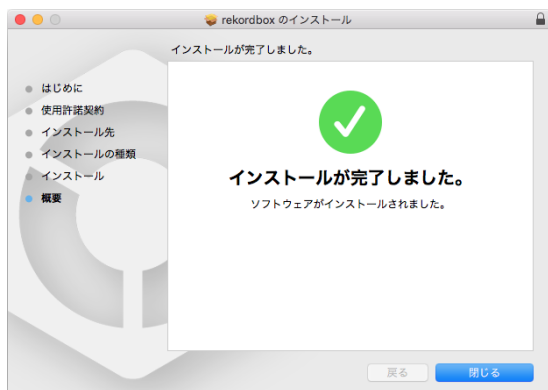
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は [同意する] をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは [同意しない] をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる



4 [完了] をクリックして rekordbox インストーラーを終了させる



以上でインストールは完了です。

❖ インストール手順 (Windows)

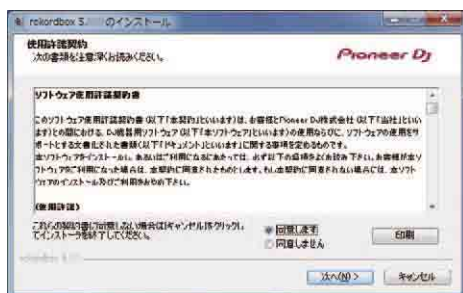
インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PCで他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 ダウンロードしたrekordboxソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



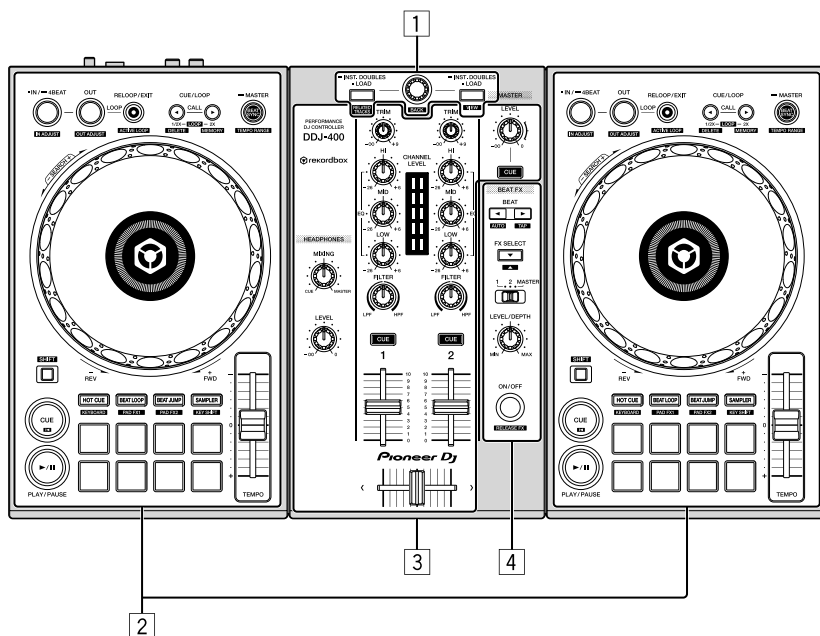
- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[キャンセル] をクリックしてインストールを中止してください。
- インストール先を指定後、インストールが始まります。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

各部の名称とはたらき

本体天面部



1 ブラウザー部

再生するトラックを選択し、各デッキにロードします。

2 デッキ部

2つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ1、コントローラー右側にデッキ2を操作するノブやボタンがあります。

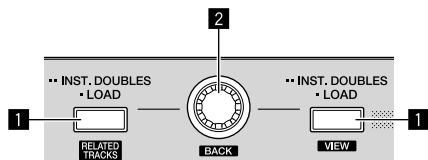
3 ミキサー部

各チャンネルのレベル調整や楽曲ミックスなどをコントロールします。

4 エフェクト部

エフェクトユニット (FX1) をコントロールします。

ブラウザー部



1 LOAD ボタン

押す：
選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

2 回押す：

操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。
再生位置も同じ状態でロードされます。(インスタントダブルス)

[SHIFT] + 押す：

左側の [LOAD] ボタンの場合は、ツリービューエリアの [関連するトラック] にカーソルが移動します。

右側の [LOAD] ボタンの場合は、rekordbox dj のデッキ表示を小さくして、ブラウズエリアを広く表示します。
再度押すと、もとの表示状態に戻ります。

2 ロータリーセクター

回す：
rekordbox dj 内の選択カーソルが移動します。

[SHIFT] + 回す：

rekordbox dj の拡大波形表示を拡大または縮小します。
右回転で拡大、左回転で縮小します。

押す：

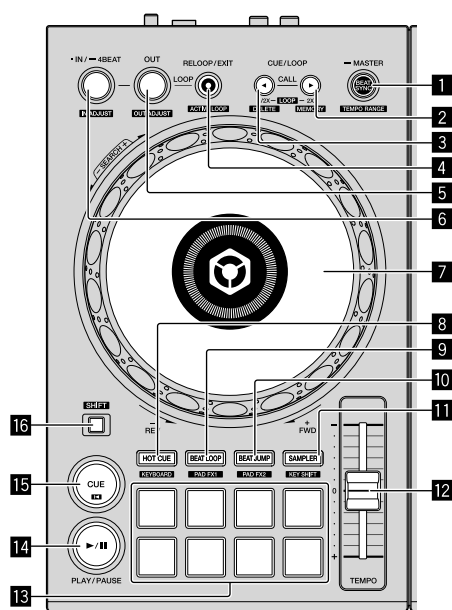
ボタンを押すたびに、ツリービューとトラックリストの間でカーソルが移動します。また、カーソルがフォルダーにある場合は、そのフォルダーを開きます。

- プレイリストパレットが表示されている場合は、ツリービューとトラックリストに加えてプレイリスト間もカーソルが移動する対象となります。
- ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットは rekordbox dj のブラウズセクションにあります。それぞれの役割については、「rekordbox 操作説明書」をご覧ください。

[SHIFT] + 押す：

[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、ツリービューとトラックリストの間でカーソルが移動します。また、カーソルがフォルダーにある場合は、そのフォルダーを閉じます。

デッキ部



1 BEAT SYNC ボタン

押す：
同期用マスターに設定されているデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

[SHIFT] + 押す：
[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すたびに、[TEMPO] スライダーの可変範囲が切替わります。
[± 6%] → [± 10%] → [± 16%] → [WIDE]

1 秒以上押す：
ボタンを押したデッキを同期用マスターデッキに設定します。

2 CUE/LOOP CALL ▶ ボタン

押す：
トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：
ループ再生の長さを 2 倍にします。
• ループインポイントで一時的停止中は、ボタンを押してもループの長さは変わりません。

[SHIFT] + 押す：
キュー待機中の場合は、そのキューポイントが保存されます。
ループ再生中の場合は、そのループが保存されます。

3 CUE/LOOP CALL ◀ ボタン

押す：
トラックに保存されているキューポイントまたはループポイントを選択して呼び出します。

ループ再生中に押す：
ループ再生の長さを半分にします。
• ループインポイントで一時的停止中は、ボタンを押してもループの長さは変わりません。

[SHIFT] + 押す：
呼び出されたキューポイントまたはループポイントが削除されます。

4 RELOOP/EXIT ボタン

押す：
前回設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。

ループ再生中に押す：
ループ再生を解除します。

[SHIFT] + 押す：
トラックに保存されているループのアクティブ状態 / 非アクティブ状態を切替えます。（アクティブループ）
• 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すと、そのトラックに保存されているループのうち、再生位置にもっとも近いループがアクティブになります。
• トラックに保存されているループを呼び出したときに、[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すと、その呼び出されたループがアクティブまたは非アクティブ状態になります。

5 OUT ボタン

押す：
ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループ再生中に押す：
ジョグを使ってループアウトポイントを微調整することができます。

6 IN/4BEAT ボタン

押す：
ループインポイントが設定されます。

ループ再生中に押す：
ジョグを使ってループインポイントを微調整することができます。

1 秒以上押す：
4 拍のオートビートループをオンします。

7 ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回す：
スクラッチ操作ができます。

外周部を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回す：
ジョグベント操作（再生速度の調整）ができます。
• VINYL モードは、rekordbox dj のショートカットキーでオン / オフできます。

[SHIFT] + 押す：
ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

8 HOT CUE モードボタン

押す：
ホットキューモードに設定します。
☞ 「ホットキューを使う」(p.13)

[SHIFT] + 押す：
キーボードモードに設定します。
☞ 「キーボードモードを使う」(p.15)

9 BEAT LOOP モードボタン

押す：
ビートループモードに設定します。
☞ 「ビートループを使う」(p.14)

[SHIFT] + 押す：
パッド FX モード 1 に設定します。
☞ 「パッド FX を使う」(p.15)

10 BEAT JUMP モードボタン

押す：
ビートジャンプモードに設定します。
☞ 「ビートジャンプを使う」(p.14)

[SHIFT] + 押す：
パッド FX モード 2 に設定します。
☞ 「パッド FX を使う」(p.15)

11 SAMPLER モードボタン

押す：
サンプラーモードに設定します。
☞ 「サンプラーを使う」(p.14)

[SHIFT] + 押す：
キーシフトモードを設定します。
☞ 「キーシフトを使う」(p.16)

12 TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

13 パフォーマンスパッド

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。
☞ 「パフォーマンスパッドを使う」(p.13)

14 PLAY/PAUSE ►/II ボタン

トラックを再生／一時停止します。

15 CUE ボタン

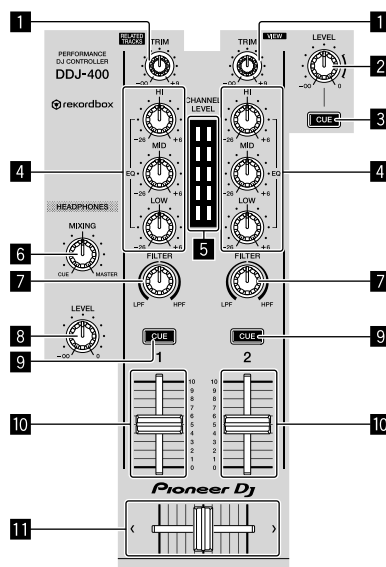
押す：
キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューサンプラー)

[SHIFT] + 押す：
再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

16 SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

ミキサー部**1 TRIM ノブ**

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

2 MASTER LEVEL ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

3 ヘッドホン CUE ボタン (MASTER)

押す：
マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

[SHIFT] + 押す：
rekordbox dj の各パネルの表示が切替わります。

全パネル表示オフ
↓
[FX] パネルのみ表示
↓
[SAMPLER] パネルのみ表示
↓
[MIXER] パネルのみ表示
↓
[REC] パネルのみ表示

4 EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

5 CHANNEL LEVEL インジケーター

各チャンネルのチャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。

6 HEADPHONES MIXING ノブ

ヘッドホン [CUE] ボタンが押してあるチャンネルの音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

7 FILTER ノブ

各チャンネルに対して、フィルターエフェクトをかけます。
ノブがセンター位置のとき原音出力されます。

左回し：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。

右回し：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

8 HEADPHONES LEVEL ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

9 ヘッドホン CUE ボタン (CH)

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

[SHIFT] + 押す：

ボタンをタップすることで各デッキのテンポを設定できます。(タップ機能)

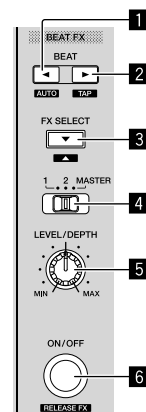
10 チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

11 クロスフェーダー

クロスフェーダーの左右に割り当てられたチャンネルの音声を出します。

エフェクト部



1 BEAT ◀ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX のエフェクト音を同期させる拍の倍率が小さくなります。

[SHIFT] + 押す：

BEAT FX のテンポモードを BPM オートモードにします。トラックの BPM 値が BEAT FX のテンポの基準となります。

2 BEAT ▶ ボタン

押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX のエフェクト音を同期させる拍の倍率が大きくなります。

[SHIFT] + 押す：

BEAT FX のテンポモードを BPM タップモードにします。BEAT FX の基準となる BPM 値を、ボタンをタップした間隔から算出します。

3 BEAT FX SELECT ボタン

押す：

ボタンを押すたびに BEAT FX の種類がプルダウンメニューの下方にあるエフェクトへ切替わります。

[SHIFT] + 押す：

[SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すたびに BEAT FX の種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

4 BEAT FX CH SELECT スイッチ

BEAT FX を加えるチャンネルを切替えます。

5 BEAT FX LEVEL/DEPTH ノブ

BEAT FX の量的パラメーターを調整します。

6 BEAT FX ON/OFF ボタン

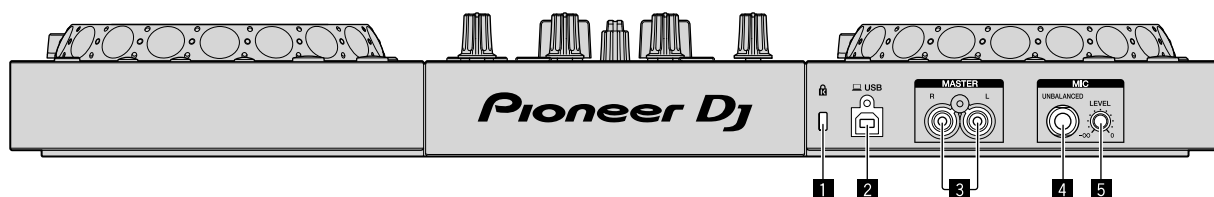
押す：

BEAT FX をオン／オフします。

[SHIFT] + 押す：

リリース FX をオンします。

本体背面部



1 ケンジントロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

2 USB 端子

PC/Mac と接続します。

- 本機と PC/Mac は付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。
- USB Type-C ポートのみが用意されている PC/Mac をお使いの場合は、USB Type-C (オス) - USB A (メス) ケーブルが別途必要になります。

3 MASTER 出力端子 (RCA ピンジャック)

パワースピーカーやパワーアンプなどを接続します。

- RCA ピンジャック型のアンバランス出力に対応しています。

4 MIC 入力端子 (1/4" TS ジャック)

マイクを接続します。

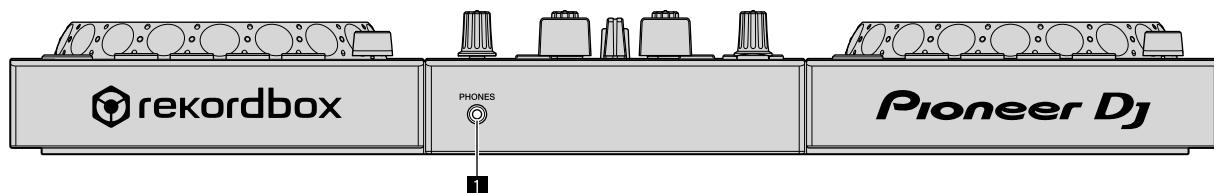
- フォーンプラグ (Φ 6.3 mm) のアンバランス入力のみに対応しています。

5 MIC LEVEL ノブ

MIC 入力端子から入力される音声レベルを調整します。

- マイクを使わないときは、音量を最小にしてください。

本体前面部



1 PHONES 出力端子 (3.5 mm ステレオミニジャック)

ヘッドホンを接続します。

ステレオミニフォーンプラグ (Φ 3.5 mm) に対応しています。

- インピーダンスが 32 Ω 以上のヘッドホンに接続してください。インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンには対応していません。

接続する

機器の接続や変更を行う場合、USB ケーブルを抜いてから行ってください。USB ケーブルは、必ず本製品に付属のものをお使いください。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

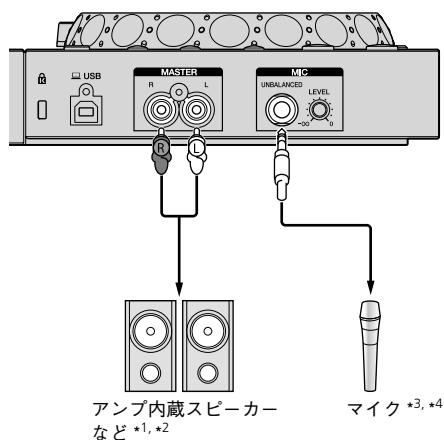
本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機と PC/Mac を接続するだけで使用できます。

接続用ケーブルは、本機の端子の位置を確認し、本機と正しく接続してください。

- 本機と PC/Mac は付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 本機を接続する PC/Mac は、AC 電源に接続してください。
- 以下のような場合に USB バスパワーで動作しないことがあります。
 - PC/Mac 本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
 - PC/Mac に他の USB 機器を接続している。
 - インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンを接続している。
 - [PHONES] 出力端子にモノラルジャックを接続している。

入出力端子に接続する

本体背面部



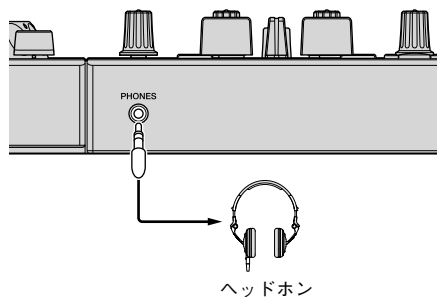
*1 オーディオケーブル (RCA) は本製品に付属されていません。別途ご用意ください。

*2 [MASTER] 出力端子に接続している機器 (アンプ内蔵スピーカーなど) のボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されるので、ご注意ください。

*3 [MIC] 入力端子は、アンバランス入力のみ対応しています。

*4 マイクを使わないときは、[MIC LEVEL] ノブで音量を最小にしてください。

本体前面部

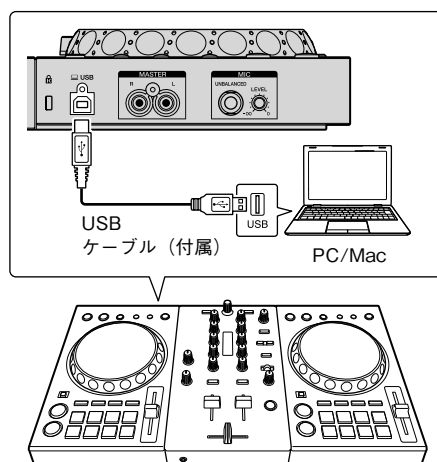


インピーダンスが 32 Ω 以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンには対応していません。

PC/Mac と接続する

1 本機と PC/Mac を USB ケーブルで接続する

性能維持のため、必ず本製品に付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使用できません。



2 PC/Mac の電源をオンにする

3 出力端子に接続された機器 (アンプ内蔵スピーカーなど) の電源を入れる

操作する (基本編)

システムを起動する

rekordbox を起動する

rekordbox を使用するためには、アカウントを登録する必要があります。付属のライセンスキーを使って rekordbox dj をアクティベートする必要があります。

各作業については、下記サイトの [Support] から [マニュアル] をクリックし、「rekordbox イントロダクション」を参照してください。

rekordbox.com

Mac のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダーを開いてから、[rekordbox] のアイコンをダブルクリックする

Windows 10 のとき

[スタート] メニューから、[Pioneer] > [rekordbox] のアイコンをクリックする

Windows 8.1 のとき

[アプリケーション] から、[rekordbox] のアイコンをクリックする

Windows 7 のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox X.X.X] > [rekordbox] のアイコンをクリックする

オーディオ設定を確認する

rekordbox の [環境設定] 内にある [オーディオ] 設定が下記の通りに設定されていることをご確認ください。

Mac のとき

[オーディオ] : [DDJ-400]

[出力チャンネル] :

[Master Output] : [DDJ-400 : MASTER + Mac 内のオーディオデバイス名]

[Headphones Output] : [DDJ-400 : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、[オーディオ] 設定内の [Master Output] の項目が [DDJ-400 : MASTER] になります。

Windows のとき

[オーディオ] : [DDJ-400 WASAPI]

[出力チャンネル] :

[Master Output] : [DDJ-400 WASAPI : MASTER + PC 内のオーディオデバイス名]

[Headphones Output] : [DDJ-400 WASAPI : PHONES]

- PC MASTER OUT がオフの場合は、[オーディオ] 設定内の [Master Output] の項目が [DDJ-400 WASAPI : MASTER] になります。

- PC MASTER OUT は、PC/Mac のスピーカーから rekordbox dj のマスター音声を出力する機能です。初期設定では PC MASTER OUT はオンになっています。
- PC/Mac のスピーカーから rekordbox dj のマスター音声を出力させたくない場合は、rekordbox dj の右上の  をクリックして消灯の状態にしてください。

楽曲ファイルを [コレクション] に追加する

[コレクション] とは、rekordbox が管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。

PC/Mac 内にある楽曲ファイルを rekordbox の楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox でそのトラックを使用できます。

1 ツリービューの [コレクション] をクリックする

[コレクション] 内に登録されているトラックリストが表示されます。

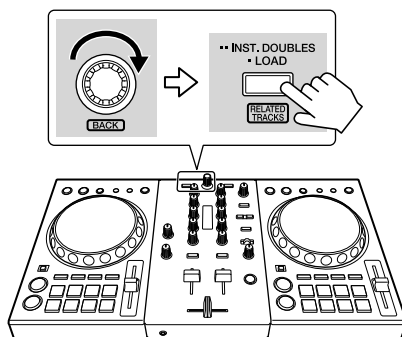
2 Finder または Windows エクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーをトラックリストにドラッグ & ドロップする

楽曲ファイルが [コレクション] に追加され、楽曲ファイルの波形情報の解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。

トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ 1 (左側) にトラックをロードする方法を例にして説明します。

ロータリーセクターを回して、[コレクション] 内のトラックを選択し、デッキ 1 (左側) の [LOAD] ボタンを押すトラックがデッキにロードされます。



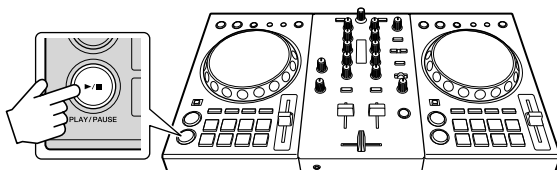
トラックを再生する

以下では、デッキ 1（左側）の音声出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

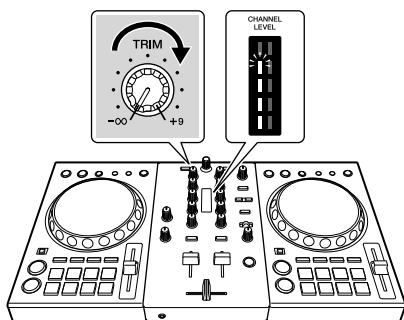
ノブなどの名称	位置
TRIM ノブ	左に回しきった位置
EQ (HI, MID, LOW) ノブ	中心位置
FILTER ノブ	中心位置
チャンネルフェーダー	手前側の位置
MASTER LEVEL ノブ	左に回しきった位置
クロスフェーダー	中心位置

2 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押してトラックを再生する

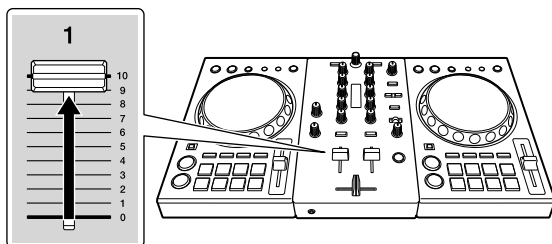


3 [TRIM] ノブを回す

[CHANNEL LEVEL] インジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。

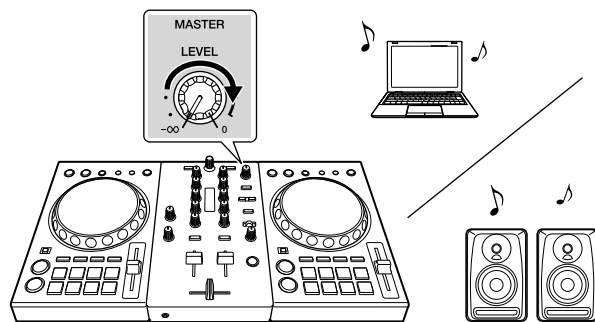


4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[MASTER] 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- PC/Mac のスピーカーから音声出力する場合は、[MASTER LEVEL] ノブではなく、PC/Mac のスピーカーの音量を調節してください。
- [MASTER] 出力端子から音声が出ないときや、本機を PC/Mac に接続しても認識しないときなどは、Pioneer DJ サポートページへアクセスして、[よくある質問 (FAQ)] を確認してください。
pioneerdj.com/support/

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ 1（左側）の音声出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

ノブなどの名称	位置
HEADPHONES MIXING ノブ	中心位置
HEADPHONES LEVEL ノブ	左に回しきった位置

2 チャンネル 1 のヘッドホン [CUE] ボタンを押す

3 [HEADPHONES LEVEL] ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

システムを終了する

1 rekrodbox を終了する

2 USB ケーブルを PC/Mac から抜く

操作する (応用編)

4 ビートループを使う

再生中に [IN/4BEAT] ボタンを 1 秒以上押す

ボタンを押した位置から 4 拍のループが自動で開始され、ループ再生を始めます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

マニュアルループを使う

指定した区間を繰り返し再生できます。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [IN/4BEAT] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [OUT] ボタンを押す

ループを分割する

ループ再生中に [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが半分に分割されます。

- 4 ビートループ再生中でも、ループの長さを半分に分割することができます。

ループを延長する

ループ再生中に [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

ボタンを押すたびに、ループ再生の長さが 2 倍に延長されます。

- 4 ビートループ再生中でも、ループの長さを 2 倍に延長することができます。

ループ再生を解除する

[RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生の開始位置を変更する

ループ再生中に [IN/4BEAT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループインポイントの位置が移動します。

ループ再生の終了位置を変更する

ループ再生中に [OUT] ボタンを押し、ジョグを回す

ループアウトポイントの位置が移動します。

パフォーマンスパッドを使う

ホットキューを使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox dj では、ホットキューポイントは 1 曲につき、16 か所まで設定および保存できますが、本機からは 8 か所まで設定および保存することができます。

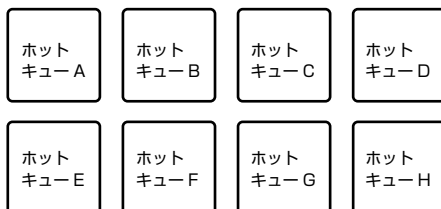
❖ ホットキューを設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

❖ 4 ビートループを設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

2 再生中に [IN/4BEAT] ボタンを 1 秒以上押す

ボタンを押した位置から 4 拍のループが設定されて、ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

❖ マニュアルループを設定して呼び出す

1 [HOT CUE] モードボタンを押す

ホットキューモードに切替わります。

2 再生中に [IN/4BEAT] ボタンを押して、[OUT] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押して、ループを設定する

4 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

ビートループを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

1 [BEAT LOOP] モードボタンを押す

ビートループモードに切替わります。

ビートループモードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

ビートループ 1/4 拍	ビートループ 1/2 拍	ビートループ 1 拍	ビートループ 2 拍
ビートループ 4 拍	ビートループ 8 拍	ビートループ 16 拍	ビートループ 32 拍

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

ビートジャンプを使う

再生中のトラックのリズムを崩さずに瞬時に再生位置を移動できます。

1 [BEAT JUMP] モードボタンを押す

ビートジャンプモードに切替わります。

ジャンプする拍数設定が以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)

① 1 拍 (左方向)	② 1 拍 (右方向)	③ 2 拍 (左方向)	④ 2 拍 (右方向)
⑤ 4 拍 (左方向)	⑥ 4 拍 (右方向)	⑦ 8 拍 (左方向)	⑧ 8 拍 (右方向)

2 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数を変更する

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、各パッドに割当られる拍数が小さくなります。

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド8を押すと、各パッドに割当られる拍数が大きくなります。

		⑦ 拍数 ダウン	⑧ 拍数 アップ

3 パッド1、パッド3、パッド5、またはパッド7を押す
押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が左方向へ移動します。

4 パッド2、パッド4、パッド6、またはパッド8を押す
押されたパッドに割り当てられた拍数で、再生位置が右方向へ移動します。

サンプラーを使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

❖ サンプラーを使う準備をする

rekordbox dj の [SAMPLER] パネルが表示されるまで、**[SHIFT]** ボタンを押しながらミキサー部のヘッドホン [CUE] ボタン (MASTER) を押す

❖ トラックをサンプラスロットにロードする

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

2 rekordbox dj の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える



rekordbox dj のサンプラーは4つのバンクがあり、それぞれのバンクには16のスロットがあります。

3 ローターリーセクターを押して、カーソルをトラックリストへ移動する

4 ローターリーセクターを回す

サンプラスロットへロードしたいトラックを選択します。

5 [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

選択されたトラックがサンプラスロットにロードされます。

- rekordbox の [環境設定] によっては、既にロード済みのサンプラスロットへ上書きでロードできない場合があります。

❖ パフォーマンスパッドを使ってサンプラーを演奏する

1 [SAMPLER] モードボタンを押す

サンプラーモードに切替わります。

2 rekordbox dj の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える

3 rekordbox dj の画面上のサンプラーゲイン (GAIN) を調節する

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- サンプラスロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ2のパッドモードがサンプラーモードのとき)

スロット1 (スロット9)	スロット2 (スロット10)	スロット3 (スロット11)	スロット4 (スロット12)
スロット5 (スロット13)	スロット6 (スロット14)	スロット7 (スロット15)	スロット8 (スロット16)

5 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

6 サンプラー再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

キーボードモードを使う

パフォーマンスパッドを使って、キーボード (鍵盤) のようにホットキューに音階をつけることができます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE] モードボタンを押す

キーボードモードに切り替わります。

2 パフォーマンスパッドを押す

キーボードモードで使用するホットキューを選択します。

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定され、キーボードモードで使用されます。
- キーボードモードで使用するホットキューを選びなおすときは、[SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] モードボタンを押します。キーボードモードで使用するホットキューが選択されると、音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(初期状態)

① +4 セミトーン	② +5 セミトーン	③ +6 セミトーン	④ +7 セミトーン
⑤ ±0 セミトーン	⑥ +1 セミトーン	⑦ +2 セミトーン	⑧ +3 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

3 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さを変更する

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、パッドに割り当てる音の高さが上がります。

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド8を押すと、パッドに割り当てる音の高さが下がります。

① ホット キュー削除	② ホット キュー削除	③ ホット キュー削除	④ ホット キュー削除
⑤ ホット キュー削除	⑥ ホット キュー削除	⑦ セミトーン アップ	⑧ セミトーン ダウン

4 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さでホットキューが再生されます。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパッド1からパッド6のいずれかを押すと、キーボードモード用に選択したホットキューを削除できます。

パッド FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 パッドFXモード1またはパッドFXモード2に切替える

- パッドFXモード1: [SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT LOOP] モードボタンを押します。
- パッドFXモード2: [SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT JUMP] モードボタンを押します。

それぞれのモードで、エフェクトが以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

[SHIFT] ボタンを押さないとき (パッドFXモード1)

エフェクト A	エフェクト B	エフェクト C	エフェクト D
エフェクト E	エフェクト F	エフェクト G	エフェクト H

[SHIFT] ボタンを押したとき (パッドFXモード1)

エフェクト I	エフェクト J	エフェクト K	エフェクト L
エフェクト M	エフェクト N	エフェクト O	エフェクト P

[SHIFT] ボタンを押さないとき (パッドFXモード2)

エフェクト Q	エフェクト R	エフェクト S	エフェクト T
エフェクト U	エフェクト V	エフェクト W	エフェクト X

[SHIFT] ボタンを押したとき (パッドFXモード2)

エフェクト Y	エフェクト Z	エフェクト AA	エフェクト AB
エフェクト AC	エフェクト AD	エフェクト AE	エフェクト AF

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける
押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

❖ パッド FX のリリース FX を使う

あらかじめリリース FX をパフォーマンスパッドに割り当てる必要があります。

1 リリース FX 以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける、または [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける
押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンします。

2 リリース FX が割り当てられたパフォーマンスパッドを押す、または [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す
それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリース FX の効果が付加されます。

キーシフトを使う

パフォーマンスパッドを押すと、パッドに割り当てられた音の高さで再生中のトラックのキー（調）が変わります。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] モードボタンを押す
キーシフトモードに切替わります。
音の高さの設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。（初期状態）

① +4 セミトーン	② +5 セミトーン	③ +6 セミトーン	④ +7 セミトーン
⑤ ±0 セミトーン	⑥ +1 セミトーン	⑦ +2 セミトーン	⑧ +3 セミトーン

セミトーンは、音程を表わす単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表わします。

2 [SHIFT] ボタンを押しながらパッド7またはパッド8を押して、パフォーマンスパッドに割り当てる音の高さを変更する

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド7を押すと、パッドに割り当てる音の高さが上がります。

[SHIFT] ボタンを押しながらパッド8を押すと、パッドに割り当てる音の高さが下がります。

		⑦ セミトーン アップ	⑧ セミトーン ダウン

3 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた音の高さで、再生中のトラックのキー（調）が変わります。

キューポイントを設定する・呼び出す

キューポイントを設定する

ロード中のトラックにキューポイントまたはループポイントを設定することができます。

1 キューポイントを設定したい位置に再生位置を移動する

2 一時停止状態で [CUE] ボタンを押す

3 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

手順2で設定されたキューポイントが保存されます。

ループを組んだ状態で [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押すと、ループポイントが保存されます。

キューポイントを呼び出す

設定したキューポイントまたはループポイントを呼び出すことができます。

[CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

キューポイントまたはループポイントが呼び出されます。

キューポイントを削除する

設定されたキューポイントまたはループポイントを削除することができます。

1 [CUE/LOOP CALL◀] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL▶] ボタンを押す

削除したいキューポイントまたはループポイントを呼び出します。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE/LOOP CALL◀] ボタンを押す

呼び出されたキューポイントまたはループポイントを消去できます。

フェーダースタート機能を使う

チャンネルフェーダースタート機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

クロスフェーダースタート機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの [CUE] ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

トラックを解析する

rekordbox のトラックリストに楽曲ファイルまたは楽曲ファイルの入ったフォルダーをドラッグ & ドロップすると、トラックの解析が始まります。

- 解析が完了する前のトラックを本機の [LOAD] ボタンを押してデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

BEAT FX を使う

BEAT FX はデッキにロードしたトラックのテンポ（BPM）にあわせてエフェクトをかけることができます。

1 rekordbox dj の [FX] パネルが表示されるまで、[SHIFT] ボタンを押しながらミキサー部のヘッドホン [CUE] ボタン (MASTER) を押す

2 [BEAT FX SELECT] ボタンを押す

BEAT FX の種類がプルダウンメニューの下方向にあるエフェクトへ切替わります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらボタンを押すと、BEAT FX の種類がプルダウンメニューの上方向にあるエフェクトへ切替わります。

3 [BEAT FX CH SELECT] スイッチを設定する

BEAT FX を加えるチャンネルを選択します。

- [1]：チャンネル 1 の音声に BEAT FX を加えます。
- [2]：チャンネル 2 の音声に BEAT FX を加えます。
- [MASTER]：[MASTER] チャンネルの音声に BEAT FX を加えます。

4 [BEAT ◀] ボタンまたは [BEAT ▶] ボタンを押す

エフェクト音を同期させる拍の倍率を設定します。

5 [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

手順 3 で設定したチャンネルの音声に BEAT FX がかかります。

[BEAT FX LEVEL/DEPTH] ノブを回すと、BEAT FX の量的パラメーターを調節できます。

BEAT FX をオンにしているとき、[BEAT FX ON/OFF] ボタンが点滅します。

- [BEAT FX ON/OFF] ボタンをもう一度押すと、BEAT FX がオフになります。

6 [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT FX ON/OFF] ボタンを押す

それまでオンになっていた BEAT FX がオフになり、リリース FX の効果が付加されます。

BEAT FX のテンポモードを切替える

rekordbox dj の BEAT FX のテンポを設定する方法として、「BPM オートモード」と「BPM タップモード」の 2 つのモードがあります。

- 初期状態は BPM オートモードに設定されています。

❖ BPM オートモード

トラックの BPM 値がエフェクトのテンポの基準となります。

❖ BPM タップモード

エフェクトの基準となる BPM 値を、[SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT ▶] ボタンを指でタップした間隔から算出します。

❖ BPM タップモードに切替える

[SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT ▶] ボタンを押す

- [SHIFT] ボタンを押しながら、[BEAT ◀] ボタンを押すと、BPM オートモードへ切替わります。

録音機能を使う

rekordbox dj には録音機能があり、ミックスした音を録音することができます。

詳しい録音方法は、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

1 rekordbox dj の [REC] パネルが表示されるまで、[SHIFT] ボタンを押しながらミキサー部のヘッドホン [CUE] ボタン (MASTER) を押す

2 rekordbox dj の [REC] パネルの をクリックして、録音を開始する

-  を再びクリックすると、録音が停止されます。
- 録音が完了すると、自動でファイルが保存されます。
- ファイルの保存先は rekordbox の [環境設定] > [コントローラー] > [録音] タブから変更することができます。
- 本機の [MIC] 入力端子から入力された音声は録音できません。

マイクを使う

1 [MIC] 入力端子にマイクを接続する

2 [MIC LEVEL] ノブを回して [MIC] 入力端子に入力される音声レベルを調整する

- 右に回しすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

3 マイクに音声を入力する

- 本機に入力されたマイク音声を rekordbox dj で加工することはできません。
- PC MASTER OUT 機能をオンにしても、PC/Mac のスピーカーからは本機の [MIC] 入力端子に入力された音声は出力されません。

設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを起動したままユーティリティーモードを起動させると、設定する状態が正しく表示されない場合があります。

1 USB ケーブルを PC/Mac から抜く

2 左側デッキの [SHIFT] ボタンと [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンの両方を押しながら、USB ケーブルを PC/Mac に接続する

ユーティリティーモードが起動します。

3 設定を変更したい項目について本機を操作する

変更可能な設定については、以下の説明をご覧ください。
設定を変更すると変更内容が保存されます。設定を保存中は左側デッキのパフォーマンスパッドの下一列が点滅するので、消灯するまでお待ち下さい。点滅中に USB ケーブルが抜かれると変更内容が保存されない場合があります。

4 USB ケーブルを PC/Mac から抜いて、本機の電源をオフにする

ユーティリティーモードを終了します。

ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは、以下の設定を変更することができます。

- マスター出力のモノラル／ステレオ切替え
- マスター出力のピークリミッターの設定
- MIDI コントローラー設定
- デモモード設定

モノラル音声／ステレオ音声を切替える

[MASTER] 出力端子から出力される音声のモノラル音声／ステレオ音声を切替えることができます。

- 初期設定では、ステレオ音声出力するように設定されています。
- モノラル音声 / ステレオ音声の切替えは、rekordbox dj 使用時のみ有効です。

左側デッキの [HOT CUE] モードボタンを押す

- [HOT CUE] モードボタン 消灯：モノラル音声出力されます。
- [HOT CUE] モードボタン 点灯：ステレオ音声出力されます。

マスター出力のピークリミッターの設定を切替える

マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。

- 初期設定では、有効に設定されています。
- マスター出力のピークリミッター設定は rekordbox dj 使用時のみ有効です。

左側デッキの [BEAT LOOP] モードボタンを押す

- [BEAT LOOP] モードボタン 消灯：マスター出力ピークリミッター無効
- [BEAT LOOP] モードボタン 点灯：マスター出力ピークリミッター有効

強制的に一般的な MIDI コントローラーとして使用する

本機は、rekordbox の起動の有無に応じて、以下のように動作が自動的に切替わります。

- rekordbox が起動している場合、rekordbox dj の機能に合わせたコントローラーとして動作します。
- rekordbox が起動していない場合、一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

rekordbox が起動していたとしても、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作させることもできます。

左側デッキの [BEAT JUMP] モードボタンを押す

- [BEAT JUMP] モードボタン消灯：rekordbox の起動の有無に応じて、動作が自動的に切替わります。
- [BEAT JUMP] モードボタン点灯：rekordbox の起動の有無にかかわらず、強制的に一般的な MIDI コントローラーとして動作します。

デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で設定された時間内に本機の操作がない場合、デモモードを開始します。

- 初期設定では、デモモードの開始までの時間は 10 分となっています。
- デモモード開始後、いずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

左側デッキのパフォーマンスパッドを押して、設定を選ぶどのパッドが点灯しているかにより、現在選ばれている設定がわかります。



オフ：デモモード無効

設定 1：1 分間操作がないときにデモモードを開始

設定 2：5 分間操作がないときにデモモードを開始

設定 3：10 分間操作がないときにデモモードを開始

rekordbox で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox 上で変更することができます。
 [環境設定] の [コントローラー] 内にある設定項目で変更します。

rekordbox と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

[コントローラー] 内の [デッキ] タブ内：

[バックスピンレングス] の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ロング／ショート／ノーマルの 3 種類から選択できます。

[ロング]：バックスピンレングス ロング

[ショート]：バックスピンレングス ショート

[ノーマル]：バックスピンレングス ノーマル

[コントローラー] 内の [ミキサー] タブ内：

[フェーダースタート] の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

[SHIFT ボタンを押しながら Channel Fader または Cross Fader を操作した時に Fader Start 動作する] にチェックを入れると有効になります。

[クロスフェーダー] の [リバース] の設定

クロスフェーダーの左右を切替えることができます。

[有効]：クロスフェーダーの左側が [DECK2]、右側が [DECK1] になります。

[無効]：クロスフェーダーの左側が [DECK1]、右側が [DECK2] になります。

[クロスフェーダー] の [Cut Lag] の設定

クロスフェーダー両端の遊び(カットラグ)を調整することができます。

0.3 mm から 5.5 mm まで 0.1 mm 単位で調整することができます。

- 初期設定では、1.0 mm に設定されています。
- カットラグの数値は目安であり、この数値通りではない場合があります。

[Level Meter] の設定

ミキサー部にあるレベルメーターにチャンネルレベルメーターまたはマスターレベルメーターどちらを表示するかを設定することができます。

- 初期設定時は、[Channel Level] に設定されています。

[Channel Level]：チャンネルレベルメーターの情報を表示します。

[Master Level]：マスターレベルメーターの情報を表示します。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートページへアクセスして、[よくある質問 (FAQ)] を確認してください。
pioneerdj.com/support/
また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、22 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
本機の電源が入らない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
	接続されている PC/Mac の USB ポートからの給電が不足していませんか？	十分な給電ができる USB ポートに接続してください。 DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらを抜いて電力を確保してください。 接続先の PC/Mac をバッテリーで駆動させずに、AC アダプターから電源供給を行ってみてください。
	本機が PC/Mac で認識されない。	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。
本機が PC/Mac で認識されない。	USB ハブを使っていますか？	USB ハブは使えません。PC/Mac と本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	お使いの PC/Mac で本機が認識されていますか？	Mac: macOS または OS X のユーティリティソフトウェア [Audio MIDI 設定] を起動し、メニューバーの [ウインドウ] > [オーディオ装置を表示] で [DDJ-400 Audio Out] が表示されるか確認してください。 Windows : [デバイスマネージャー] > [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー] 下に [DDJ-400] が表示されるか確認してください。
	他のアプリケーションが動作していませんか？	スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
	本機以外に USB 機器が接続されていませんか？	外付けハードディスクや、一部機種ではキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
	—	お使いの PC/Mac に USB A 端子が複数ある場合は、他の USB A 端子で確認してください。
	Mac のサウンド設定は、正しく設定されていますか？	Mac : 本機と接続している USB ケーブルを外してから、macOS または OS X のユーティリティソフトウェア [Audio MIDI 設定] を起動し、[MIDI ウインドウ] または [MIDI スタジオ] を表示させます。[DDJ-400] アイコンを選択してから [装置を削除] をクリックします。(アイコンは [DDJ-400] ではなく、[USB MIDI 装置] になっている場合があります。その場合は [USB MIDI 装置] を選択します。) 再度、本機と USB ケーブルで接続すると [DDJ-400] アイコンが表示されます。
	ジョグがタッチしても反応しない。	本機のジョグタッチの検出は静電方式のため、ジョグが汚れていたり、手にハンドクリームをつけていたりすると反応しないことがあります。ジョグを清掃するときは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で 5 倍から 6 倍に薄めて、柔らかい布に浸してよく絞ってください。絞った後に汚れをふき取り、乾いた布で拭いてください。
録音できない。 音が出ない、または音が小さい。	本機のほかの金属部分に触れながら、ジョグにタッチすると反応はありますか？	本機のほかの金属部分に触れながらジョグにタッチが効く場合は、本機が接続している機器から影響を受けている可能性があります。本機に接続されている機器 (PC/Mac やアンプなど) の接続環境 (設置場所やグラウンド接続状態など) を見直してください。
	録音レベルが低くなっていませんか？	rekordbox dj の [REC] パネル内にある録音調整ツマミを調整してください。
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	接続しているパワースピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワースピーカーなどの外部入力切替や音量を正しく設定してください。
音がひずむ。	[TRIM] ノブ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ノブが正しい位置に設定されていますか？	[TRIM] ノブ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ノブを正しい位置に設定してください。
	[MASTER LEVEL] ノブが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて、[MASTER LEVEL] ノブを調整してください。
	[HEADPHONES LEVEL] ノブが正しい位置に設定されていますか？	接続する機器に合わせて [HEADPHONES LEVEL] ノブを調整してください。
音声がかぎれる。	[TRIM] ノブが正しい位置に設定されていますか？	チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータがピークレベルで点灯するように [TRIM] ノブを調整してください。
	バッファサイズの値は適切ですか？	rekordbox のバッファサイズの値を適切に設定してください。
インジケータが点滅して動作がおかしくなった。		動作がおかしい、もしくは起動しない場合は、USB ケーブルを一度抜いて、しばらく経ってから再度 USB ケーブルを接続してください。 それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
rekordbox dj の動作が不安定になる。	アプリケーションのバージョンは最新になっていますか？	rekordbox Ver.5.x が既にインストールされている場合は、rekordbox 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。rekordbox を初めてお使いになる場合、または rekordbox Ver.4.x 以前をお使いの場合は rekordbox 商品サイトより最新のバージョンをダウンロードできます。
	rekordbox 以外のソフトウェアを同時使用していませんか？	PC/Mac の負荷を減らすために、他のアプリケーションを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルス対策ソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
	PC/Mac に他の USB 機器を接続していませんか？	他の USB 機器を PC/Mac から外してください。他のオーディオデバイスと同時に PC/Mac に接続すると、正常に動作および認識されないことがあります。
	USB ハブを使っていますか？	USB ハブは使えません。PC/Mac と本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。
	本機が接続されている USB A 端子に不具合がある。	お使いの PC/Mac に USB A 端子が複数ある場合は、他の USB A 端子で確認してください。
	バッテリー駆動させているノートパソコンに接続していませんか？	ノートパソコンに AC アダプターから電源供給してください。（ノートパソコンの設定によっては、バッテリー駆動中に省電力にするために、PC/Mac 自体のパフォーマンスを自動的に落とす場合があります。）
	バッファサイズの値は適切ですか？	rekordbox dj のバッファサイズの値を適切に設定してください。
フェーダースタート機能が動作しない。	キューが設定されていますか？	キューを設定してください。
	フェーダースタートが正しく設定されていますか？	フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordbox dj の [環境設定] > [コントローラー] の [ミキサー] タブを選択して [フェーダースタート] のチェックボックスにチェックを入れてください。
画面上にトラックデッキがひとつしか表示されない。トラックデッキにプлатターが表示されない。	rekordbox が [EXPORT] モードになっていませんか？	画面左上に [EXPORT] と書かれている部分をクリックした後、[PERFORMANCE] を選択してください。
	rekordbox dj のアクティベートはお済みですか？	「rekordbox イントロダクション」をお読みになり、rekordbox dj のアクティベートを行ってください。
ヘッドホンの音が小さい	接続されている PC/Mac の USB ポートからの給電が不足していませんか？	本機は USB ポートからの給電が不足すると、ヘッドホンの音量に制限を加えます。DJ プレイに使用しない機器が別の USB ポートに接続されている場合は、それらを抜いて電力を確保してください。

他の DJ アプリケーションのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやノブなどの操作情報を汎用の MIDI 形式で出力します。MIDI 対応の DJ アプリケーションをインストールした PC/Mac と USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ アプリケーションを操作できます。また、PC/Mac で再生している楽曲ファイルの音声を本機から出力できます。また、DJ アプリケーションのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。

- 詳しくは、お使いの DJ アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージについて

本機の MIDI メッセージについては、「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDI メッセージ一覧」は下記の URL より入手できます。
pioneerdj.com/

ドライバーソフトウェアについて

本機は OS が標準で搭載するドライバーで動作します。

本機と PC/Mac を USB ケーブルで接続するだけで使用することができます。

保証とアフターサービス

本内容は日本国内モデルのみに適用されます。

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の巻末に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (取扱説明書 (クイックスタートガイド) の裏表紙に記載)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

次のような場合には、保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

- 本機を改造して使用した場合
- 不正使用や使用上の誤りの場合
- 他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理、その他にともなう営業上の機会損失 (逸失利益) は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますので、ご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 20 ページの「故障かな? と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名: DJ コントローラー
- 型番: DDJ-400
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer DJ は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。rekordbox および KUVO は、Pioneer DJ 株式会社の登録商標または商標です。
- Mac, macOS, OS X および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel および Intel Core は、米国および／またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされておりません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

ソフトウェアのライセンス

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2018 Pioneer DJ 株式会社

禁無断転載

<DRJ1066-B>